

WIN5⑤
 出馬単
 2⇒10
 2⇒7
 2⇒6
 10⇒7
 2⇒1
 2⇒4

3連単
 フォーマーション
 1着 ②
 2着 ①④⑥
 3着 ①④⑥
 ⑦⑩
 ⑦⑩
 ⑦⑩
 (20点)

1Gホースの取捨が鍵
 重賞昇格後のホープフルS勝
 馬は次走(2004)で勝った2頭は次走が単月賞。間隔をあけないと危ない傾向がある。また、重賞昇格後の

本紙の見解
ダンオンザキッドを信頼

デビューから無傷3連勝のダンオンザキッド。新馬→東スポ杯に比べ前走の優勝っぷりは地味に映ったが、危なげはなかった。相手も特に強化されたわけではなく、同舞台ながら4連勝の公算は高い。同じ中山二千でも、暮れより時計の出る馬場になったのはプラス材料。折り合い良く、距離延長の不安は少ないシネルマイスターが相手。【単有望】

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

2
 3連複
 2710
 2610
 1210
 2410
 267
 247
 226
 246

その他の重賞好走馬は
 京成杯はホープフルSより前
 半千メートルが1秒8遅かった
 だけ。馬場状態の違いを考
 慮してもホープフルSよりハ
 イレベルだった可能性はある
 が、②着タイムトゥヘヴン
 は超Sの逃げが恵まれたの
 は確か。③着テンバガーは展
 開不向きに加えて直線で不利

ス展開
 逃げ 好位 中位 後方
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

タイムの前走は押し出された
 逃げで超スロー。ハナにこだわ
 る馬は不在で何が逃げてもスロ
 ー必至。後ろからだど苦しい

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

今年初のメンバールなら初勝利直
 後でも差は小さい。好タイム
 勝ちゴールデンシロップ、楽
 勝ホウオウサンデーに注意。

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

この勝負
 2-10
 3-10
 2-3
 2-7
 6-10
 1-10
 4-10

直線、進路を見つけると
 ノーステッキで気合をつけ
 るだけ。後続を離す一方の
 ひらぎ賞が圧倒的な勝ち
 方だったシネルマイスター
 1。少頭数で落ち着いた流
 れ、体力より瞬発力重視の
 競馬。追っての反応・加速
 力は世代ナンバール、状態
 のよきも目立っています。

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

小本曾
 大祐

BSイレブン解説者

時計の裏付けこそない
 が、ただ1頭の重賞勝ち馬
 (GIGIII)ダンオンザキッ
 ドがスケールで圧倒できる
 組み合わせ。同じ中山20
 00mのホープフルS以上
 の中身に期待したい。相手
 は一長一短。早めの進出か
 ら強気にスパートするはず
 のタイトルホルダー本線。

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

この勝負
 2-4
 2-10
 4-10
 2-6
 2-3
 1-2
 2-3

動きたった。クロス鼻草を着
 した効果か、馬場入りも着着
 きがありい霧閉塞。本番に
 けて、少しでも賞金加算を。
 5ホウオウサンデー(「狂え
 ない」)で坂路中心の調整だ
 け、調子は良さそうだし、デ
 ビューに力が入った。さすが
 ⑥奥村武師(「力有も」)
 ④国枝師(「まだ成長段階
 力で見伏せた前も随所に若
 さが見られたし、この相手の中
 に入ってきたまでやれるか。同
 じ舞台を経験した強みが少し

馬番	馬名	性別	年齢	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績
11	中山	牡	3	父	母	調教師	厩舎	出走回数	重賞	成績

メインレース展望

黒津	紳一	郡	和之
シネルマイスターの反	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
前走は仕掛けられての反	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
の良さ・抜け出しで	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
好走を示す十分な	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
距離に慣れた未知数	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
が、操作性の高さから	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる
なせる方に賭けたい。	成績欄にある通り、ま	さにならぬ。伸びる	さにならぬ。伸びる

《3歳重賞リステッド馬連》
 5月29日(土)までの3歳重賞および3歳ステイブルレース(計37レース)の「馬連」を対象に、通常の払戻金に先上げの5%増額を上乗せして払戻します。
 JRA 日本中央競馬会

中山 11R	3連複 上位人気	中山 11R	3連単 上位人気
21410	9.9	21014	15.9
21710	10.0	21017	20.2
21610	10.1	21016	22.1
21310	11.9	21013	23.6
21810	17.9	21410	24.1
11210	20.1	21710	30.1
21417	20.9	21610	34.3
21416	24.4	21018	36.3
21617	25.4	21417	41.3
21316	26.7	21011	41.6
21317	26.8	21714	42.6
21314	27.1	21310	43.8
21510	29.0	21416	45.6
21618	37.5	10217	51.4
21418	38.4	10214	51.9
11216	39.2	21614	52.2
21718	39.2	21413	53.7
11214	47.5	21713	56.8
21318	47.6	21617	58.5
11213	54.8	21716	58.5
11217	54.9	10213	60.2
21910	56.2	10216	61.5
21516	75.3	21314	62.8
21415	83.1	21015	65.5
31710	83.8	21317	65.8

中山 11R TMイチ推し10シネルマイスター
 パネを利かせ加速 折り合いもつき万全

71R	1000	800	600	200	馬脚	いろ
1ゴール南W稍	70.3	55.3	40.4	12.3	2馬	馬なり併
28美坂助手 543 394 123一杯追						
3南DW稍助 手	69.0	53.7	38.9	11.9	2馬	馬なり先
(古2勝アーチキング馬なりの内を走走3騎先着)						

前走は仕掛けられての反の良さ・抜け出しで好走を示す十分な距離に慣れた未知数が、操作性の高さからなせる方に賭けたい。

成績欄にある通り、まさに一葉抜きの伸びるだけなく、グイグイ引き離した内容は圧巻。折り合いに何ら不安なし。体型・走法から二千馬問題なきようなシネルマイスターに期待。

《母親勝利率度数を記載》

母親名の下に中央競馬での競走成績を記載しました。輸入は外国産馬、公営は公営競馬の登録、未出走は出走馬、未登録は中央競馬の未登録馬を示します。また、太字数字は重賞勝ちがあったことを表します。			
17年グロブシニアター	18年サンリヴァルム	19年ニシノダイジー	20年ブレイキングドーン
15年シャイニングレイ	15年エアーセンス	14年ホープフルS	14年ホープフルS

おうちの馬連

中山 11R	馬連	合計
6	ながし	6000円
1237810		
	☆各1000円	
	合計★6000円	

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

母親名の下に中央競馬での競走成績を記載しました。輸入は外国産馬、公営は公営競馬の登録、未出走は出走馬、未登録は中央競馬の未登録馬を示します。また、太字数字は重賞勝ちがあったことを表します。

中山芝2000m	ジョッキー	連対率	ベスト10
1ルメー	辺崎	57.3	112
2戸田	武崎	31.7	21
3戸田	武崎	29.2	23
4武田	豊	28.6	24
5M	吉田	27.0	25
6吉田	豊	22.2	26
7池	添	20.3	27
8石橋	脩	17.3	28
9吉田	隼	16.1	29
10横山	武	15.0	30
	2016~2020年		
	30騎乗以上		

前走は仕掛けられての反の良さ・抜け出しで好走を示す十分な距離に慣れた未知数が、操作性の高さからなせる方に賭けたい。

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

中山 11R 参考成績	第37回	ホープフルステークス(GI)	着	上りが
10	ダノンザキッド	55川 田	2.02.8	① 36.4
11	オーソクレー	55ルメル	03.0	① 36.7
12	ヨーホーレイク	55武 豊	03.1	① 36.4
13	タイトルホルダー	55戸 崎	03.3	① 37.0
14	13シュヴァリエ	55北村友	03.4	① 36.5
15	5テネカハ	55坂井	03.5	① 36.5
16	9アオイショ	55石橋	03.7	① 36.4
17	7マカオンドール	55岩田	03.7	① 36.4
18	4ヴィゴ	55横山	04.4	① 37.8
19	12アドマイザ	55吉田	04.5	① 37.9
20	6ホーシバ	55丸 山	04.8	① 38.2
21	8パニングポイント	55M	05.4	① 39.3
22	15セイハロート	55木	05.3	① 38.0
23	14モリデンア	55山田	08.3	① 39.6
24	3ランドオブ	55三 浦	中止	②

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

中山 11R 参考成績	第37回	ホープフルステークス(GI)	着	上りが
10	ダノンザキッド	55川 田	2.02.8	① 36.4
11	オーソクレー	55ルメル	03.0	① 36.7
12	ヨーホーレイク	55武 豊	03.1	① 36.4
13	タイトルホルダー	55戸 崎	03.3	① 37.0
14	13シュヴァリエ	55北村友	03.4	① 36.5
15	5テネカハ	55坂井	03.5	① 36.5
16	9アオイショ	55石橋	03.7	① 36.4
17	7マカオンドール	55岩田	03.7	① 36.4
18	4ヴィゴ	55横山	04.4	① 37.8
19	12アドマイザ	55吉田	04.5	① 37.9
20	6ホーシバ	55丸 山	04.8	① 38.2
21	8パニングポイント	55M	05.4	① 39.3
22	15セイハロート	55木	05.3	① 38.0
23	14モリデンア	55山田	08.3	① 39.6
24	3ランドオブ	55三 浦	中止	②

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。

最高タイムランキング

最高タイムランキング	中山11R
2.01.3 ワンデイモア	良①中山21年1月
2.02.8 テンバガー	良①小倉20年8月
2.02.8 ダノンザキッド	良①中山20年12月
2.03.0 タイムトゥヘヴン	良①中山20年12月
2.03.3 タイトルホルダー	良④中山20年12月
2.04.3 タイセイドリマー	重④中京21年1月
2.04.9 ソーヴェリアント	稍③東京20年10月
2.06.3 ホウオウサンデー	良①中山20年12月

中山11R 丸開みは着順

着順	馬名	タイム
1	ワンデイモア	2:01.3
2	テンバガー	2:02.8
3	ダノンザキッド	2:02.8
4	タイムトゥヘヴン	2:03.0
5	タイトルホルダー	2:03.3
6	タイセイドリマー	2:04.3
7	ソーヴェリアント	2:04.9
8	ホウオウサンデー	2:06.3

ワンデイモア。前走は鮮やかな勝ちっぷりで、時計2分01秒3。Cコース初日(12月)はAコースでも時計は出ていたが、差し引いても評価できる。同馬は昨年の弥生賞勝ち馬サトノと同じ国枝厩舎。ローテでも未勝利勝ちから弥生賞までの過程がサトノとほぼ同じ。2頭が勝っている1月5日1勝クラスの時計比較では、ワンデイモアの方が0秒1速い。なにより、同馬は一戦ごとの成長ぶりが素晴らしい。